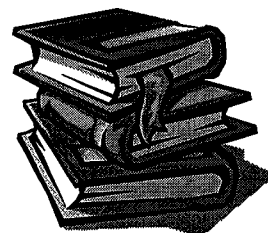


# 図書館だより 第22号

H.12.7.10 神戸大学附属図書館医学部分館

>>>	も	く	じ	<<<	ページ
○分館長新任挨拶	.....				1
○「図書館利用者カード」を取りに来て下さい	.....				2
○雑誌見直しのためのWG検討事項報告	.....				3
○学外文献申し込みは所蔵をよく確かめてから	.....				3
○チュートリアル教育って?	.....				3
○医学部分館「特別利用」講習会のご案内	.....				4
○新規受入ビデオソフトのご案内	.....				4



## 《分館長新任挨拶》

### 📖 学生のための学習環境造り 📖

市橋正光

今日は2000年7月1日である。北海道で開催されている学会から帰神することなく直接、サンフランシスコの学会に参加するため旭川発午前11:45の全日空便に乗り、まずは羽田へ移動中である。小さな窓から眼下の力強い入道雲が見えるが、その上方の青く澄み切った空が印象的である。環境破壊が現在程に進行していなかった私の子供の頃は地上からでも、青空を見上げることができた。急速に変化する地球の自然環境に無関心では過ごせない時代に入っていることを痛感する。ほとんど何も積極的な地球環境保護に対する運動に協力できないでいる自分に腹立たしさを覚える。しかし、毎日短い期限内に済まさねばならない仕事が次々と新たに加わってくるため、その対応に追われているのが現実である。

移動の間にはっと気付いた。今年4月に神戸大学図書館医学部分館長を引き受けてから3ヶ月が過ぎている。一日も早く図書館だよりに挨拶文をのせなければならない。

去る5月には秋田で開催された日本医学図書館協会総会に出席し、医学図書館の機能や図書館が今日かかえている諸問題について学ぶことができた。ここ数年来の急速な情報革命により図書館電子化の必要性に迫られ、一方では紙の文化としての図書館の意義も大きく、いかに両者を共存させるかに関してはどの図書館も模索中であり、まだ最良の方式は見い出されていない。さらに研究者支援のための新しいジャーナルの購入など経費上の大問題もかかえている。このような状況の中で分館長として短期間で何をなすべきかを考え実行に移すことは大変難しい上に勇気がいる。この点については、すでに私の考えは神戸大学の「神戸大学附属図書館報」に挨拶文として掲載していただいているが、簡単に要旨を述べるならば学部学生が自学自習するための支援である。

就任後、具体的なstepとして医学科4年次の学生を対象に図書館に何を望むかをアンケートで調査した。学生向けの書籍の多くは古く、数や種類も少ないことが明らかとなり、私が考えていた通り医学科の学生教育の支援が不十分であることが確認できた。是非一年以内に学生諸君の要望に少しでも応えたいと思う。早急に他の学年に対してもアンケート方式で図書館への要望を問うことにしている。

さて、1週間前に熊本県立大学の図書館を尋ねた。同大学主催の市民講座に招かれ「太陽紫外線がヒトの健康に与える影響」についての講演をした際に、館内を案内してもらった。築後6

年目の建物との説明を受けたが、21世紀を見据え、大きな夢をはぐくめるよう高い天井のゆったりとした空間に約25万冊の蔵書を所有する学生のための図書館であった。神戸大学医学部医学科の分館とは目的が著しく異なっている点は、研究者支援を第一目的とした書籍ではなく、学生を社会人として育てるための支援を主体とした図書が揃えられていることであった。

政治や経済に哲学、歴史から芸術や文学など広いジャンルの図書や新刊雑誌がならべられていた。地図、辞書類、その他の教育書など幅広い人間性を身につけるために役立つと思われる多様な図書がそなわっていた。

特別コーナーの一階には新着、新刊が並べられ簡単に手にとれるよう英国のストーンヘンジを想像させるような円弧状にspaceをとって配置されていた。

医学部の学生が要求する専門知識を修得するための図書は勿論のこと医学部附属病院のメディカルの人々のための専門的書籍も必要であり充実させたい。さらに、熊本県立大学の図書館の見学でも必要性を確信した豊かな人間性を育むための一般図書の充実に取り組みたい。まずは学生をはじめ医学部や病院の職員の皆様の意見をいただき、学部長、学科長をはじめ、医学科の教育にかかわる医師、さらには図書館職員の方々と十分に話し合い、学生のための図書館の環境造りに取り組みたい。

特色あるコーナーの開設も考えている。例えば(1)遺伝子治療の現状と将来(2)地球環境コーナー(3)学生や職員のクラブ活動を支援する図書コーナーなどもおもしろいと思われるがいかがでしょうか？

ここで、分館長の自己紹介をしたい。徳島県鳴門市に1939年4月21日に生まれ、1953年に神戸市に移住。1954年神戸医科大学卒業、神戸大学医学研究科博士過程を1960年に修了し1972-1974年にわたる2年間ロンドン大学で紫外線によるDNA損傷について研究、帰国後本学部放射線基礎医学の藤原美定教授の指導で色素性乾皮症の臨床と基礎研究に興味をもち、太陽紫外線のヒト健康への影響について研究を続けている。現在は太陽紫外線の有害性を世界の情報に加えて、私共の皮膚科学教室の研究成果をもとに、専門医師だけではなく一般市民にも訴えている。今年の10月の大倉山祭では学生諸君が「皮膚」をテーマに公開講座を催すとのことである。皮膚の役割と皮膚科学の重要性を一般の方々に知っていただける機会であり、今から充分な準備をして学生諸君の期待に応えたい。

(いちはし まさみつ：皮膚科)

## ◆◇「図書館利用者カード」を取りに来てください◇◆

分館では、図書館の利用者全ての方々に『図書館への入館』、『資料の貸出』、『特別利用(24時間システム)』に使用できる新IDカード(名称:「図書館利用者カード」)を、作成し用意しています。現在、約3,000枚が登録済で約2,500人が保有しておられます。

まだ図書館利用者カードを取りに来られていない方は、なるべく早くカウンターまで取りに来ていただくようお願い致します。

なお、このカードの発行を受けられるのは次の方々です。

・医学部医学科及び附属病院関係者(教官、学生、院生、研究生、医員、研修医、職員等)

◎保健学科の方は、名谷分室発行のIDカードを利用して下さい。

◎学外者の方は、その都度カウンターへお申し出下さい(カードの発行は受けられません。図書館を利用することは出来ます)。

## ※※※「図書館利用者カード」を無くさないで! ※※※

カードを紛失される方が多いようですが、紛失カードを他人が利用した場合は持ち主の責任になりますので、カードの厳重な管理をお願い致します。

なお、カードを紛失・損傷された方は、至急図書館カウンターまでお申出下さるようお願い致します。

## ◆◇ 雑誌見直しのためのWG検討事項報告 ◇◆

平成12年3月30日開催の医学部分館運営委員会において、鎌江教授（都市安全研究センター）を委員長とした各分野の代表8名の運営委員による、購入雑誌の見直し対策、及び分館の将来構想の策定についての『雑誌見直しのためのWG検討事項報告』が次期分館長同席のもとになりました。

検討会は6回開催され、雑誌見直しの検討に関し集中的に討議を重ねた結果、下記の原則に立ち、各講座等の教育・研究に極力障害がでない程度の公平且つ効率的で定則的な見直し案の策定を行うとした内容になっています。

- 原則：
- 1) 見直し方法の手順に客観的指標を導入する。
  - 2) 年度に限らず再現可能な方法である。
  - 3) 講座間の基本的な公平性を保つ。
  - 4) 小講座等の個別の事情もある程度反映する。

また、この見直し案の策定で採用する基礎データは

- 1) 現在調査中の『雑誌利用調査票』データ
- 2) 雑誌のインパクトファクター
- 3) 各講座への継続希望誌調査データ（その都度調査）

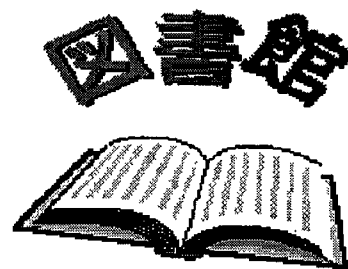
で、上記の原則と基礎データを利用し算出する手法です。

今年8月にはこの手法を用いた見直しを行う可能性があります。なお、この手法の詳しい内容を知りたい方は、各講座等の分館運営委員会委員が資料をお持ちですのでお尋ね下さい。

**\*\*\* 利用者の皆様に『雑誌利用調査票』に記入のお願い \*\*\***

今年の雑誌見直しをより公平に行うためには、見直し直前の基礎データが必要であるため、平成11年11月から平成12年4月までの半年間の予定で行って来ましたが『雑誌利用調査』を、もう少し延長（10月までの1年間続けます）することになりました。

お手数ですが、引き続き『雑誌利用調査票』に記入のご協力をよろしくお願いいたします。



## ◆◇ 学外文献申込みは所蔵をよく確かめてから ◇◆

\* 学外文献を申し込まれるときは分館に所蔵していないかよく調べてください。  
電子ジャーナルも確認してください。

すぐ入手できる文献なのに時間がかかってしまいます。

\* 文献は早く取りに来てください。

文献が到着しましたら必ず電話で連絡します（出来るだけ早く受取りに来てください）。

下記の到着目安日が過ぎても連絡が無い場合はお問い合わせください。（内線5316）

- ・普通のお申し込み は 10日
- ・速達のお申し込み は 4日
- ・FAXによる取寄せ文献の到着は、お申込み当日（17時まで）又は翌日です。

## ◆◇ チュートリアル教育って？ ◇◆

4年次生にはお馴染みでしょうが、“初耳”という方もいるのではないのでしょうか。少人数グループによる討論型問題解決学習法で、学生参加型の能動的な授業を行いながら集団の中での人間関係を保つ資質の育成をも期待した、より密度の濃い教育をしようというシステムがチュートリアル教育とのことです。

4月からのスタートのために、学務課が昨年末からいろいろと準備をしてきました。この準備の資料調達面で図書館も携わり、図書資料1,143冊、千数百万円分の図書を受け入れました。そのほとんどはチュートリアル室（基礎学舎3階）に備え付けてありますが、同じ図書を図書館にも1冊づつ備え付けています。他の図書と同じように配架していますので、OPACで探してご利用下さい。

◆◇ 医学部分館「特別利用」講習会のご案内 ◇◆

通常開館以外の時間帯(365日/24時間)、いつでも利用していただいています。  
安全にご利用していただくために「特別利用講習会」の受講が必要です。

次回「講習会」開催は

7月14日(金) 午後3時～(30分程度)

図書館の3階会議室で行います。

☆次々回「講習会」は9月中旬の予定です。

☆申請書は図書館カウンターにあります。

☆申請される方は事前に「図書館利用者カード」の発行を受けておいてください。

☆利用できる方は、教官・非常勤講師・大学院生・研究生・医員・医員(研修医)です。

< 新規受入ビデオソフトのご案内 >

入門コミュニケーションの技術—スキル	3巻	新版目でみる医学の基礎	17巻
基礎学習シリーズ3 リラクゼーション	1巻	目で見る病気	20巻
フォーカシング—心とからだに耳をすませ	1巻	目で見る身体のしくみ	14巻
がん患者の痛み緩和	3巻	目で見る新しい臨床検査	15巻
Face to Face	3巻	リハビリテーション医学	15巻
こんなに簡単ステキに家庭看護入門	2巻	生体のしくみ	100巻
HIV感染と口腔症状	1巻	目で見る薬理学入門	16巻
看護技術学習支援ビデオシリーズ(7領域)	45巻		



★★★ 図書館へ著書の寄贈をお願いします。 ★★★

本をお書きになりましたら、ぜひ図書館へも1冊寄贈をお願いします。

☆☆☆ できれば神戸大学医学部関係者コーナーを! ☆☆☆

< 4月からの新しいメンバーです >

石坂泰郎(サ・ビ・ス第四掛長・明石工専から)  
小野未佳(サ・ビ・ス第四掛員・新採)  
長井和代(管理掛主任・自然科学系図書館から)

< お世話になりました >

竹中京子(国際教養系図書館へ異動)  
本多雅之(明石工専へ転出)  
吉田富江(定年退官)

【 図書館業務案内 】

カウンターサービス⇒ 情報サービス第四掛 (内線 3098,5310 E-mail : mlibs@lib.kobe-u.ac.jp)  
文献複写申込 ⇒ 情報技術掛 ( " 5316,5315 " : igaku@lib.kobe-u.ac.jp )  
" 問合せ⇒ " ( " " " : mlibj@lib.kobe-u.ac.jp )  
資料購入関係 ⇒ 医学系情報管理掛 ( " 5306 " : :mlibk@lib.kobe-u.ac.jp)  
「特別利用」関係⇒ " ( " 5305 " : " )

\* 「図書館だより」は医学部分館のホームページでもご覧になることができます。

URL : <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/igaku/>

発行：神戸大学附属図書館医学部分館  
神戸市中央区楠町7-5-1

平成12年7月10日付 第22号  
TEL : 078 (382) 5305  
FAX : 078 (382) 5319